

A5  
6590  
212

天保四冬已三月廿七日

地主の脇宮とまお則地主  
の神には友松布良守眼

疾まで蘆原村至西里

一郎、郎とくもひ、支是

寺石井の行りまへて

社代と家法宮再奉立

別居和也、松井忠社

久保吉宗、神松家

神西社也、伊豆守松氏

やがて由參自、肩古

九月十九日お經のりと成

まきと東永くお年事で

宇、御子と

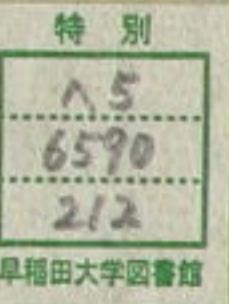
三月

松井忠社

健吉

別居和也

5 6 7 8 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 1 2 3 4



卷之三

6 7 8 9  
30  
1 2 3 4 5 6 7 8 9  
40  
1 2 3 4 5 6 7 8 9  
50  
1 2

先祖執事神事  
彦九郎造



